

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果及び改善方策について

佐伯市教育委員会

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果及び改善方策について(小6・中3)

市内の小学校6年生と中学校3年生を対象に、令和6年4月18日(木)に「全国学力・学習状況調査」を実施しました。以下は、その集計結果です。

【目的】

- ①児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題の検証・改善を図る。
- ②学校における児童生徒への教育指導の充実、学習状況の改善等に役立てる。
- ③教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【調査内容】

①教科に関する内容

小6…国語、算数の2教科

中3…国語、数学の2教科

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等を調査。
- ・知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等を調査。

②生活習慣や学習環境に関する質問調査

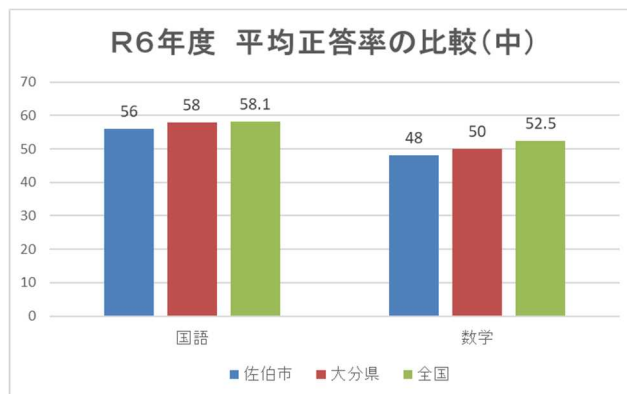
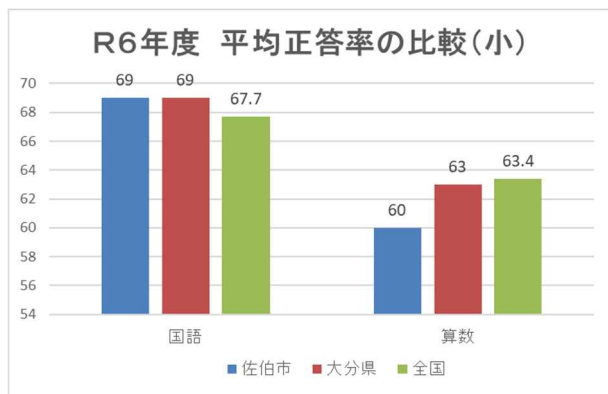
児童生徒質問・・・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

学校質問・・・指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況に関する調査

	小学校6年生			中学校3年生		
	国語	算数	合計	国語	数学	合計
佐伯市	69	60	129	56	48	104
大分県	69	63	132	58	50	108
全国	67.7	63.4	131.1	58.1	52.5	110.6

 は全国平均以上

【平均正答率(全問題数のうち、どのくらいの問題を正答したかの割合)[%]の全体比較】



<結果概況>

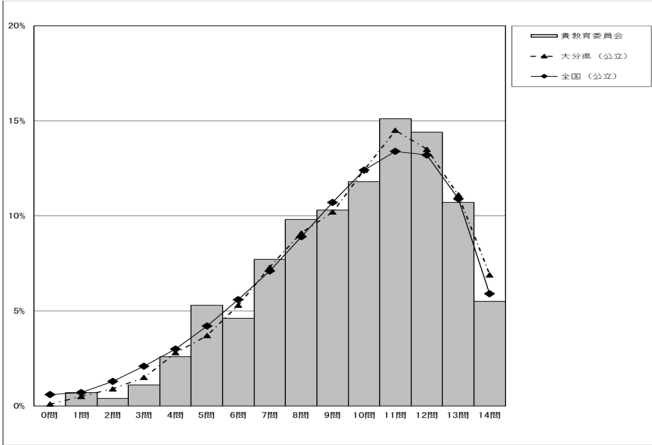
- 小学校は、国語で全国平均を上回った。
- 中学校は、国語・数学で全国平均を下回った。
- 小学校の国語は、県平均と同値であるが、算数は3ポイント県平均を下回った。
- 中学校の国語は、2.1ポイント全国平均を下回り、数学は4.5ポイント全国平均を下回った。

<課題と対策>

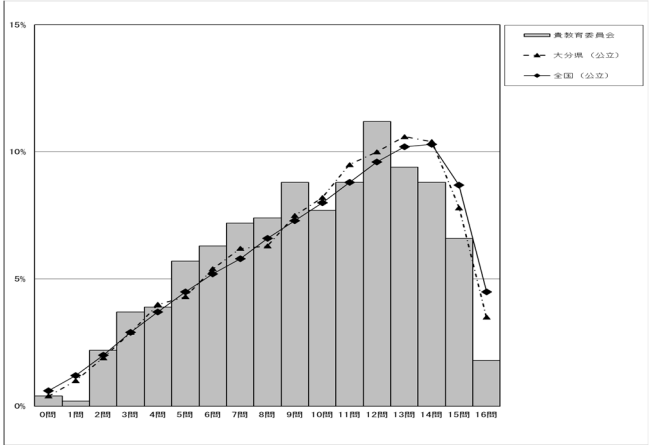
- 小学校の国語においては、物語文を読んで心に残ったところとその理由を記述する問題、算数においては、折れ線グラフから必要な数値を読み取り条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述する問題の無解答率が高い。自分の考えを条件にそって記述することに課題があることから、児童のつまずきがどこにあるのか要因を分析し、授業改善とともに、定着習熟に向けた取組の改善を図る必要がある。
- 中学校の国語においては、物語文の続きを記述する問題、数学においては、2つの三角形の合同を証明する問題、数学的な表現を用いて事象が成り立つことを説明する問題の無解答率が高い。生徒の解答の傾向等を要因分析し、授業改善とともに、自分の考えを説明する力の育成にむけた取組の改善を図る必要がある。

	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率 (%)	平均正答数	平均正答率 (%)
佐伯市教育委員会	9.7/14	69	9.6/16	60
大分県 (公立)	9.7/14	69	10.1/16	63
全国 (公立)	9.5/14	67.7	10.1/16	63.4

小学校国語 分布



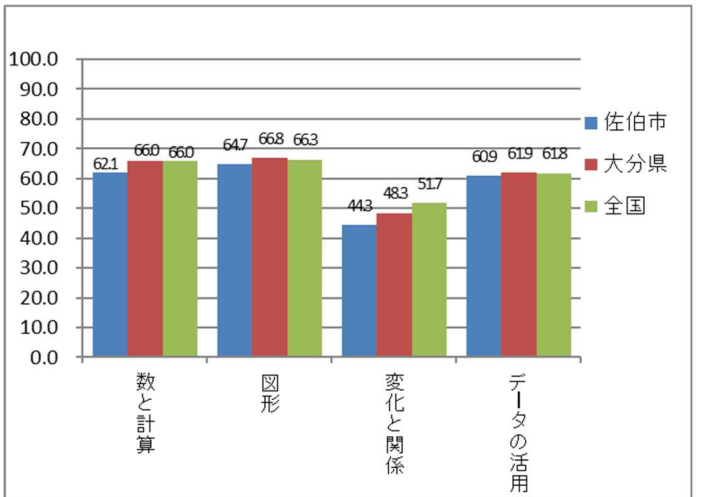
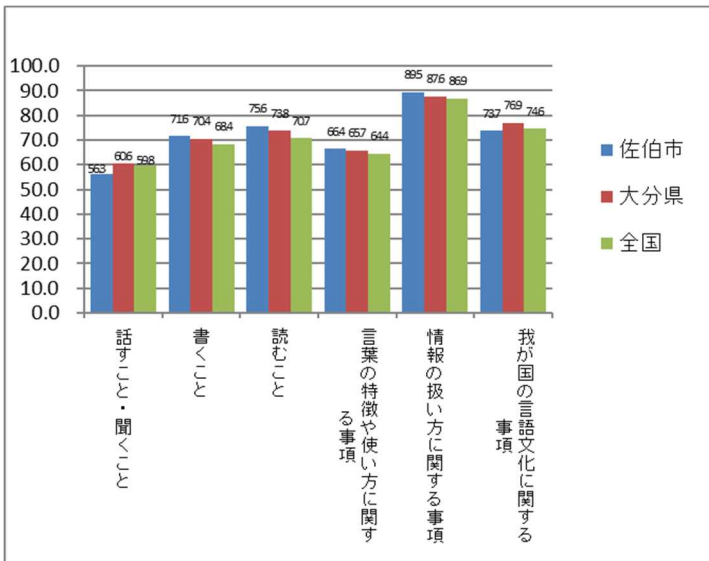
小学校算数 分布



小6国語	平均正答率(%)		
学習指導要領の内容	佐伯市	大分県	全国
話すこと・聞くこと	56.3	60.6	59.8
書くこと	71.6	70.4	68.4
読むこと	75.6	73.8	70.7
言葉の特徴や使い方に関する事項	66.4	65.7	64.4
情報の扱い方に関する事項	89.5	87.6	86.9
我が国の言語文化に関する事項	73.7	76.9	74.6

小6算数	平均正答率(%)		
学習指導要領の内容	佐伯市	大分県	全国
数と計算	62.1	66.0	66.0
図形	64.7	66.8	66.3
変化と関係	44.3	48.3	51.7
データの活用	60.9	61.9	61.8

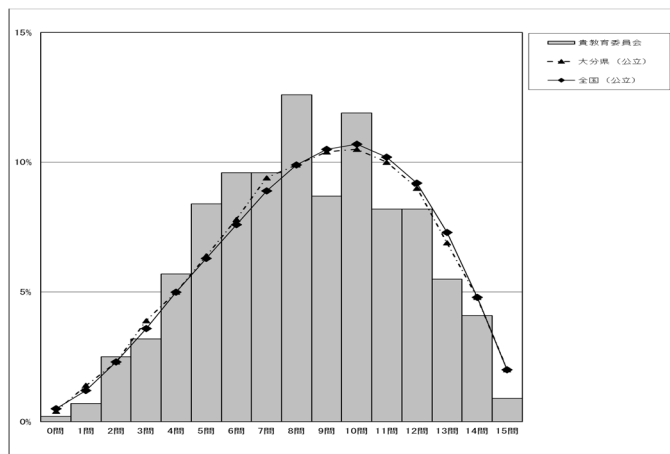
は全国平均以上



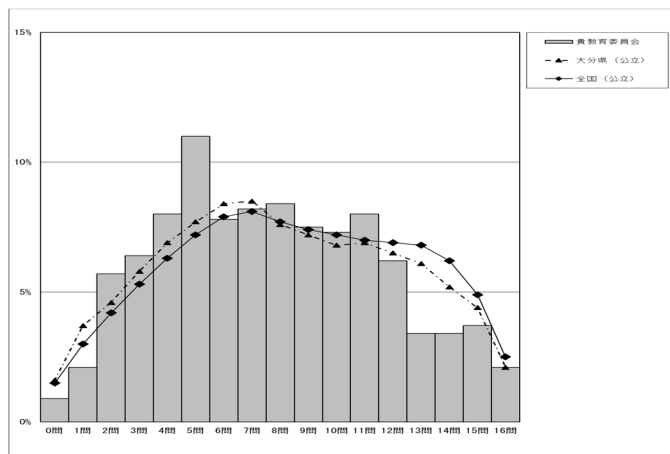
調査結果概況<中学校>

	国語		数学	
	平均正答数	平均正答率 (%)	平均正答数	平均正答率 (%)
佐伯市教育委員会	8.3/15	56	7.7/16	48
大分県(公立)	8.6/15	58	8.1/16	50
全国(公立)	8.7/15	58.1	8.4/16	52.5

中学校国語 分布



中学校数学 分布

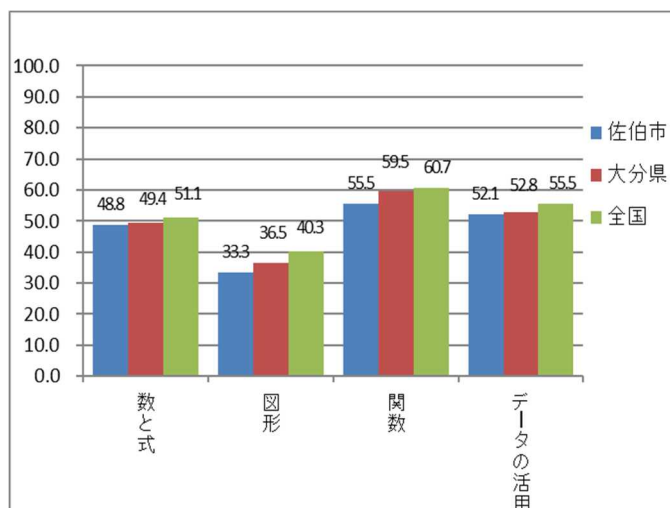
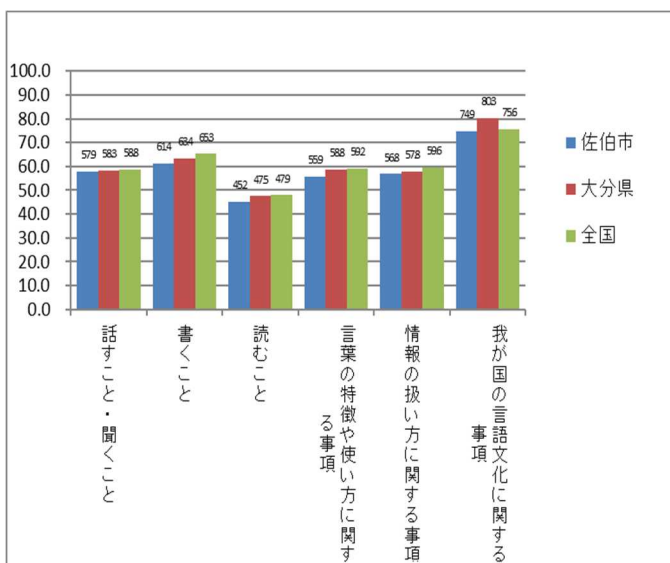


中3国語 平均正答率(%)

学習指導要領の内容	佐伯市	大分県	全国
話すこと・聞くこと	57.9	58.3	58.8
書くこと	61.4	63.4	65.3
読むこと	45.2	47.5	47.9
言葉の特徴や使い方に関する事項	55.9	58.8	59.2
情報の扱い方に関する事項	56.8	57.8	59.6
我が国の言語文化に関する事項	74.9	80.3	75.6

中3数学 平均正答率(%)

学習指導要領の領域	佐伯市	大分県	全国
数と式	48.8	49.4	51.1
図形	33.3	36.5	40.3
関数	55.5	59.5	60.7
データの活用	52.1	52.8	55.5



小学校国語

佐伯市の平均正答率	69%
大分県の平均正答率	69%
全国の平均正答率	67.7%

◇正答率が高い設問 ◆正答率が低い等課題が見られる設問

○設問数 14問

- ◇平均正答率80%以上の問題・・・3問（大分県3問、全国2問）
- ◇平均正答率が全国平均以上の問題・・・6問（大分県12問）
- ◆平均正答率60%未満の問題・・・2問（大分県2問、全国2問）
- ◆平均正答率が全国を下回っている問題・・・8問（大分県2問）

①学習指導要領における領域・問題別に見た分析

<無解答率が高かった問題>

- ◆2三ア 高山さんの文章の下線部アを、漢字を使って書く。(きょうぎの作戦を考えたりします。)
(佐伯市 10.1%・大分県 10.9%)

<正答率が低かった問題>

【話すこと・聞くこと】

- ◆1二(2) オンラインで交流する場面における和田さんの話し方の工夫として適切なものを選択する。
(佐伯市 45.5%・大分県 53.5%)
→資料を活用するなどして、相手に自分の考えが伝わるような話し方を工夫することに課題がある。

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

- ◆3一 【物語】の一文の中の「かがやいています」の主語として適切なものを選択する。
(佐伯市 61.7%・大分県 63.2%)
→文の中における主語と述語の関係を捉えることに課題がある。

②具体的な改善方策

- 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現する学習活動を充実させる。
 - ・伝える相手や目的を明確にし、どのような資料を用意すればよいか考える場面を設定することが大切である。
 - ・目的や意図に応じて、資料の順番を変えたり、適切な機会での資料の提示の仕方について検討したりする時間を設定することが大切である。
 - ・自分が発表している様子を撮影し、それを見ることで、自分の考えが伝わる発表になっているかふりかえらせることも効果的である。
- 目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書く学習活動を充実させる。
 - ・文章の内容に着目して、文章全体に一貫性があるのか確認することや、文末表現に着目して、事実と自分の考えを区別して書くことができているか確かめる場面を設定することが大切である。
 - ・ペアやグループで文章を読み合い、事実と意見を区別して書けているか確かめ合う場面を設定することも効果的である。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で適切に使うことを大切にする。
 - ・単語で漢字を覚えるのではなく、前後の文章の中で正しい漢字を選択したり、文意に沿った漢字を書き表したりする学習活動を大切にする。
 - ・他教科や日常生活と関連させて、漢字に慣れ親しませていく。
- 文の中における主語と述語との関係を捉える指導を各単元の中で大切にする。
 - ・主語が何かを意識して文章を読んだり、書いたりすることを低学年から繰り返し指導する。
 - ・主語の表し方や、主語と述語が離れて表されている場合があることに留意する。

小学校算数

佐伯市の平均正答率	60%
大分県の平均正答率	63%
全国の平均正答率	63.4%

◇正答率が高い設問 ◆正答率が低い等課題が見られる設問

○設問数 16問

- ◇平均正答率80%以上の問題・・・3問（大分県3問、全国3問）
- ◇平均正答率が全国平均以上の問題・・・5問（大分県8問）
- ◆平均正答率60%未満の問題・・・6問（大分県6問、全国6問）
- ◆平均正答率が全国を下回っている問題・・・11問（大分県8問）

①学習指導要領における領域・問題別に見た分析

<無解答率が高かった問題>

- ◆5(3) 折れ線グラフから、開花日の月について、3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月と4月の違いを書く。
(佐伯市9.8%・大分県10.7%)

<正答率が低かった問題>

【図形】

- ◆3(3) 直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く。
(佐伯市26.7%・大分県35.2%)
→球の直径の長さと同立方体の一辺の長さの関係を捉えることに課題がある。

【変化と関係】

- ◆4(3) 家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる2人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く。(佐伯市24.1%・大分県26.9%)
→道のりが等しい場合の速さについて、時間をもとに判断し、その理由を言葉や数を用いて順序立てて記述することに課題がある。

②具体的な改善方策

○グラフから目的に応じた情報を読みとること、見いだしたことを考察したり、表現したりする学習活動を位置づける

- ・グラフの特徴や傾向を捉えたり、考察したりしたことを、グラフのどこから考えたのかを明確にしながら、友達にわかるように説明したり、言葉と数を用いて記述したりすることが大切である。

○具体的な数値が示されていない図形の問題において、図形を構成する要素を見だし、問題を解決するために必要な数値を考える学習を充実させる。

- ・底辺や高さなど、具体的に数値が示されていない問題を扱い、図形の意味や性質をもとにして、課題解決のために必要な数値を見いだす学習活動を大切にする。
- ・様々な図形を組み合わせた問題を扱うことで、球の直径の長さが立方体の一辺の長さと同じなど、図形を構成する要素や図形同士の関係に着目し、筋道を立てて問題を解決出来るようにすることが大切である。

○二つの数量の関係について、考察したことを言葉や数を用いて記述する学習活動を充実させる。

- ・場面に応じて、速さの比べ方を考察する問題を扱う。
- ・2つの数量の関係について考察したことを、言葉や数を用いて記述することを大切にする。

中学校国語

佐伯市の平均正答率	69%
大分県の平均正答率	69%
全国の平均正答率	69.8%

◇正答率が高い設問 ◆正答率が低い等課題が見られる設問

○設問数 15 問

- ◇平均正答率 80% 以上の問題・・・0 問（大分県 1 問、全国 0 問）
- ◇平均正答率が全国平均以上の問題・・・2 問（大分県 5 問）
- ◆平均正答率 60% 未満の問題・・・8 問（大分県 8 問、全国 8 問）
- ◆平均正答率が全国を下回っている問題・・・13 問（大分県 10 問）

①学習指導要領における領域・問題別に見た分析

<無解答率が高かった問題>

- ◆3四 表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する。
（佐伯市 14.6%・大分県 17.8%）
- ◆3三 漢字を書く（みちたりた）（佐伯市 9.4%・大分県 9.6%）

<正答率が低かった問題>

【情報の扱い方に関する事項】

- ◆1三 話し合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する。
（佐伯市 39.5%・大分県 41.6%）
→意見と根拠など情報と情報との関係について文章を読み解くことに課題がある。

【書くこと】

- ◆3四 表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する。
（佐伯市 44.5%・大分県 48.3%）
→表現の効果を考えて描写すること、自分の考えた物語の表現についてどのような効果があるのか、文章で記述することに課題がある。

【読むこと】

- ◆2四 本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する。
（佐伯市 33.8%・大分県 40.3%）
→目的に応じて必要な情報に着目して要約することに課題がある。
- ◆2一 本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する。
（佐伯市 37.2%・大分県 35.9%）
→文章と図を結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈することに課題がある。

②具体的な改善方策

○目的に応じて、必要な情報に着目して要約する学習活動を充実させる。

- ・伝える対象や目的を意識しながら、複数の資料の中から必要な情報を取り出し、それらを関連づけながら、要約する言語活動を位置づける。
- ・伝える対象や目的に応じて、要約する内容が異なることを大切にする。
- ・要約した文章の内容が、基となる文章の内容と変わっていないか振り返ることが大切である。

○描写を工夫した物語文を書く学習活動を位置づける。

- ・どのような表現の工夫ができるのか、学習モデルとなる物語文を読み、表現の工夫を話し合う学習活動を大切にする。
- ・物語文や説明文など、相手や目的を明確にし、自分の考えが伝わる文章を書く言語活動を充実させる。

○文脈に即して、漢字を正しく使うことを大切にする。

- ・単語のみで漢字を学習するのではなく、熟語や漢字のもつ意味などと関連付けた指導を行うことが大切である。
- ・漢字を書く活動を通して、漢字を正しく用いる態度と習慣を養うことが大切である。
- ・タブレット端末等で文字を入力する際にも、適切な漢字を選択することができるよう変換の際に意味を確認したり、必要に応じて辞書を引いたりすることができるように指導することが大切である。

中学校数学

佐伯市の平均正答率	48%
大分県の平均正答率	50%
全国の平均正答率	52.5%

◇正答率が高い設問 ◆正答率が低い等課題が見られる設問

○設問数 16問

- ◇平均正答率 80% 以上の問題・・・2問（大分県 2問、全国 2問）
- ◇平均正答率が全国平均以上の問題・・・1問（大分県 3問）
- ◆平均正答率 60% 未満の問題・・・10問（大分県 9問、全国 9問）
- ◆平均正答率が全国を下回っている問題・・・15問（大分県 13問）

①学習指導要領における領域・問題別に見た分析

<無解答率が高かった問題>

- ◆ 9 (1) 正三角形 PAC と QBC をつくるとき、 $AQ = PB$ であることを、三角形の合同を基にして証明する。（佐伯市 43.4%・大分県 38.8%）
- ◆ 6 (3) 正四面体の頂点に O 、各辺に \square をかいた図において、 O に入れた整数の和と \square に入る整数の和について予想できることを説明する。（佐伯市 31.3%・大分県 33.2%）
- ◆ 7 (2) 速さが段階 1 から段階 5 まで、だんだん速くなるにつれて、10cm の位置から進んだ距離から長くなる傾向にあると主張できる理由を 5 つの箱ひげ図を比較して説明する。（佐伯市 31.1%・大分県 32.6%）

<正答率が低かった問題>

【関数】

- ◆ 8 (2) 18L の灯油を使い切るまでの「強」の場合と、「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフを用いて説明する。（佐伯市 10.7%・大分県 16.6%）
→事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。

【図形】

- ◆ 9 (1) 正三角形 PAC と QBC をつくるとき、 $AQ = PB$ であることを、三角形の合同を基に証明する。（佐伯市 14.4%・大分県 19.0%）
→筋道を立てて考え、証明することに課題がある。

【データの活用】

- ◆ 7 (2) 速さが段階 1 から段階 5 まで、だんだん速くなるにつれて、10cm の位置から進んだ距離から長くなる傾向にあると主張できる理由を 5 つの箱ひげ図を比較して説明する。（佐伯市 22.4%・大分県 25.8%）
→複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

②具体的な改善方策

○各領域において、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法や判断の理由について、数学的な表現を用いて説明する学習を充実させる。

（数と式）

- ・事柄が成り立つ理由を構想を立てて説明する活動。

（図形）

- ・筋道を立てて考え、証明する活動。

（関数）

- ・事象の数学的な解釈に基づいて、問題解決の方法を数学的に説明する活動。

（データの活用）

- ・データの分布の傾向を比較して読みとり、判断の理由を説明する活動。

○説明する内容や意図について明確に示しながら、以下のような活動をそれぞれの領域において、生徒が数学的に説明できる活動を充実させる。

- ①「事柄・事実の説明」・・・見いだした事柄や事実を、「○○（前提）ならば（なので）、□□（結論）になる。」のような形で説明する。
- ②「方法・手順の説明」・・・用いるもの（表、式、グラフ等）を明確にしたうえで、方法や手順を的確に説明する。
- ③「理由の説明」・・・ある事柄が成り立つ理由を、「○○（根拠）であるから、△△（成り立つ事柄）である。」のような形で説明する。

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果（児童・生徒質問紙）

1 調査結果の概要

数値は「当てはまる」「よく行った」等、最も肯定的な数値

○：全国値以上 ▼：全国値未満 着色：大分県値以上

【小学校】授業に関すること

No	項目	佐伯市	大分県	全国
27	PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使用しましたか	○ 61.6	56.8	59.5
28(4)	PC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる	○ 53.1	50.5	47.6
30	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	▼ 28.4	31.2	29.5
31	各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	▼ 29.0	30.4	29.7
38	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	▼ 33.2	32.5	36.5
41	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学習やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	○ 50.4	49.2	47.3
42	国語の勉強は好きですか	○ 31.2	28.8	24.1
44	国語の授業の内容はよく分かりますか	○ 49.8	44.0	39.2
45	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	○ 63.5	62.5	61.8
48	国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いていますか	○ 41.3	38.8	37.1
50	算数の勉強は好きですか	▼ 29.5	34.5	34.0
52	算数の授業の内容はよく分かりますか	○ 46.5	45.2	44.9
53	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	▼ 65.9	71.2	71.7
61	英語の勉強は好きですか	▼ 30.8	38.4	38.2
63	英語の授業の内容はよく分かりますか	▼ 36.2	43.2	43.6

【小学校】家庭学習に関すること

No	項目	佐伯市	大分県	全国
20	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	▼ 30.8	32.4	30.3
21	普段（月曜日～金曜日）、1時間以上、勉強をしますか	▼ 54	56.9	54.6
22	普段（土曜日～日曜日）、1時間以上、勉強をしますか	○ 49.2	53.8	48.6
5	普段（月曜日～金曜日）、1日当たり3時間以上の時間、テレビゲームをしますか	▼ 37.7	30.8	30.3
6	普段（月曜日～金曜日）、1日当たり3時間以上の時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか	▼ 25.6	20.9	20.7

【小学校】学びに向かう力に関すること

No	項目	佐伯市	大分県	全国
9	自分には、よいところがあると思いますか	▼ 42.4	42.6	43.4
11	将来の夢や目標をもっていますか	▼ 55.5	60.8	60.6
13	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	▼ 75.3	80.5	79.5
15	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	▼ 68.3	70.5	71.1
16	学校に行くのは楽しいと思いますか	○ 49.8	47.2	47.2
24	新聞を、ほぼ毎日読んでいますか	▼ 1.5	2.6	3.7
25	地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思いますか	○ 39.3	37.7	36.8

【中学校】授業に関すること

No	項目	佐伯市	大分県	全国
27	PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使用しましたか	○ 68.9	66.9	64.4
28(4)	PC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる	○ 51.2	52.0	42.9
30	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	▼ 24.0	29.0	27.2
31	各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	○ 27.0	28.1	24.7
38	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	○ 35.6	36.6	33.7
41	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学習やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	○ 50.3	54.2	49.8
42	国語の勉強は好きですか	○ 27.9	28.2	24.4
45	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	▼ 51.5	55.8	52.3
48	国語の授業で、自分の考えが伝わるように表現の効果を考えて文章を書いていますか	▼ 24.9	31.9	28.3
50	数学の勉強は好きですか	▼ 28.3	29.3	29.4
52	数学の授業の内容はよく分かりますか	▼ 32.9	33.7	35.1
53	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	○ 42.6	43.2	40.0
64	スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか	○ 52.6	43.2	44.0
65	自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか	○ 56.9	49.1	44.9

【中学校】家庭学習に関すること

No	項目	佐伯市	大分県	全国
20	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていますか	○ 27.4	30.8	28.2
21	普段（月曜日～金曜日）、1時間以上、勉強をしますか	○ 64.9	77.1	64.3
22	普段（土曜日～日曜日）、1時間以上、勉強をしますか	○ 71.0	81.6	63.0
5	普段（月曜日～金曜日）、1日当たり3時間以上の時間、テレビゲームをしますか	▼ 29.3	25.2	29.0
6	普段（月曜日～金曜日）、1日当たり3時間以上の時間、携帯電話やスマートフォンやSNSや動画視聴などをしますか	▼ 35.1	28.2	32.5

【中学校】学びに向かう力に関すること

No	項目	佐伯市	大分県	全国
9	自分には、よいところがあると思いますか	▼ 34.0	40.7	40.4
11	将来の夢や目標を持っていますか	▼ 33.8	36.0	36.1
13	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	○ 78.0	80.6	77.5
15	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	▼ 67.1	69.2	68.6

2 児童・生徒質問紙の調査結果をふまえて

- ・「授業に関すること」「家庭学習に関すること」「学びに向かう力に関すること」の質問項目において、全国値よりも割合が低い項目（▼）が多く見られる。児童生徒の回答を真摯に受け止め、具体的な改善方針に繋げていくことが必要である。
- ・小学校英語、中学校数学においては、全国値に比べ教科の学習の好感度が下回っている。各教科でその要因を分析し、「楽しい、わかる、できる」授業にむけて、授業改善を進める必要がある。
- ・家庭学習について、「土曜日～日曜日に、1日当たり1時間以上勉強する」が、小学校、中学校ともに全国値を下回っている。「テレビゲームを1日あたり3時間以上する」「スマートフォンでSNSや動画視聴を1日あたり3時間以上する」と回答した割合が、小・中学校ともに全国値よりも高いことを踏まえ、生活習慣の改善とともに、自分で学習を行う家庭学習の内容の改善を図る必要がある。
- ・小・中学校ともに、「自分にはよいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」が全国値を下回っている。児童生徒の実態分析を行い、人間関係構築のための手立てを具体的にを行う必要がある。

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果（学校質問紙）

数値は「当てはまる」「よく行った」等、最も肯定的な数値

◎：全国値より10%以上

○：全国値以上 ▼：全国値未満 着色：大分県値以上

1 調査結果の概要

【小学校】授業に関すること

No	項目	佐伯市	大分県	全国
7	授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	▼ 27.8	43.5	38.9
15	言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の授業に応じて、学校全体として取り組んでいますか	○ 50.0	59.3	41.4
25	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	○ 27.8	30.5	20.1
36	総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の課程を意識した指導をしていますか	○ 33.3	41.5	33.1
41	国語の授業において、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるような指導を行いましたか	○ 27.8	30.5	19.5
42	国語の授業において、目的や意図、場面の状況に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、話す内容を検討することができるような指導を行いましたか	◎ 38.9	30.5	22.2
43	国語の授業において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができるような指導を行いましたか	○ 33.3	41.9	29.8
44	国語の授業において、登場人物の人物像や物語の全体像を具体的に想像し、表現の効果を考えながら読むことができるような指導を行いましたか	◎ 50.0	43.5	35.5
45	算数の授業において、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	○ 33.3	37.0	27.6
46	算数の授業において、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする活動を行いましたか	▼ 33.3	46.7	35.9
47	算数の授業において、問題の答えを求めさせるだけでなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、児童に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか	○ 44.4	52.0	44.0
48	算数の授業において、児童がどのようなことにつまずくのかを想定した指導を行いましたか	○ 38.9	50.0	38.5
53	教員が大型掲示装置等のICT機器を活用した授業を週3回以上行いましたか	◎ 100.0	91.8	92.9
54	教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか	○ 72.2	72.8	60.5
56	児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業で週3回以上活用しましたか	◎ 100.0	95.1	93.2

【小学校】家庭学習に関すること

No	項目	佐伯市	大分県	全国
71	家庭学習の取組として、学校では、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか	○ 50.0	58.1	47.2
72	家庭学習について、児童が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか	▼ 33.3	34.6	36.0
73	学校では、児童が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かしましたか	◎ 44.4	42.7	27.7

【小学校】教育課程に関すること

No	項目	佐伯市	大分県	全国
12	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育内容を組織的に配列していますか	◎ 55.6	55.7	38.8
13	児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	○ 50.0	65.0	40.4
14	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	○ 55.6	61.0	48.1
20	学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、改善に向けて学校として組織的に取り組んでいますか	◎ 88.9	82.5	65.2
68	近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	▼ 16.7	30.5	18.8
70	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか	○ 38.9	57.3	36.7

【中学校】授業に関すること

No	項目	佐伯市	大分県	全国
7	授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	○ 58.3	53.8	57.9
15	言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体で取り組んでいますか	◎ 58.3	54.7	37.8
25	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	◎ 50.0	29.9	20.6
36	総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか	○ 41.7	46.2	37.7
41	国語の授業において、話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解することができるような指導を行いましたか	◎ 50.0	39.3	28.7
42	国語の授業において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができるような指導を行いましたか	▼ 25.0	34.2	29.7
43	国語の授業において、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書く指導を行いましたか	○ 41.7	44.4	39.4
44	国語の授業において、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができるような指導を行いましたか	○ 41.7	41.9	35.3
45	生徒に対する数学の授業において、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	▼ 8.3	26.5	22.3
46	数学の授業において、前年度までに、観察や操作、実験等の活動を通して、数量や図形等の性質を見いだす活動を行いましたか	○ 25.0	27.4	22.7
47	数学の授業において、前年度までに、問題の答えを求めさせるだけではなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、生徒に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか	○ 50.0	41.0	41.6
48	数学の授業において、前年度までに、生徒がどのようなことにつまずくのかを想定した指導を行いましたか	▼ 41.7	48.7	42.3
57	教員が大型提示装置等（プロジェクター、電子黒板等）のICT機器を活用した授業を週3回以上行いましたか	▼ 91.7	88.8	91.9
58	教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会はありますか	◎ 66.7	57.3	52.0
60	生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業で週3回以上活用しましたか	▼ 83.3	91.4	90.8

【中学校】家庭学習に関すること

No	項目	佐伯市	大分県	全国
75	家庭学習の取組として、学校では、家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えましたか	○ 33.3	47.0	32.9
76	家庭学習について、生徒が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか	▼ 16.7	36.8	24.7
77	学校では、生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や生徒の学習改善に生かしましたか	○ 25.0	36.8	21.6

【中学校】教育課程に関すること

No	項目	佐伯市	大分県	全国
12	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	◎ 58.3	55.6	35.4
13	生徒の家や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	◎ 66.7	59.8	40.5
14	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	◎ 66.7	45.3	36.0
20	学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、改善に向けて学校として組織的に取り組んでいますか	◎ 83.3	82.1	59.9
72	近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組をどの程度行いましたか	◎ 41.7	42.7	24.8
74	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか	◎ 58.3	42.7	28.6

2 学校質問紙調査の結果をふまえて

- ・「授業に関すること」「家庭学習に関すること」「教育課程に関すること」の質問項目において、全国値を上回っている項目が多く、各学校の授業内容や家庭学習の充実のための取組、充実した教育過程の編成が進んでいる。
- ・小学校の「授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか」については、全国値を大きく下回っている。授業規律の徹底を図ることが必要である。
- ・中学校の「数学の授業において、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか」が全国値を大きく下回っている。教科書の問題だけを行うのではなく、実生活の中から課題をつくり、数学的思考をさせ、学んだことを実生活に活用することにより学習意欲を高める具体的な取組を講じていく必要がある。
- ・小・中学校ともに、「家庭学習について、自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか」が全国値を下回っている。定着・習熟を図るためだけでなく、児童生徒が自ら学習課題を見出し、学び続ける「自立した学習者」を育成する側面からも、家庭学習の内容について検証改善を行うことが大切である。

佐伯市学力向上対策に係る学力向上の取組

<佐伯市内小・中学校の現状・課題>

- (1) 基礎学力の定着と活用問題（課題）への対応
- (2) 読解力、表現力（読む・聞く → 話す（説明する）・書く）の向上



<現状・課題をふまえた重点的取組>「佐伯市学力向上」プランから

◇定着・習熟の取組

- (1) 「習熟の程度に応じた指導」を意識した授業実践
- (2) 児童生徒の主体的な学習を促す個に応じた指導の徹底
- (3) 授業と連動した家庭学習と、家庭学習の確かな見取り
- (4) N I Eの実践と情報共有
 - ・新聞社のワークシート等を活用した取組
- (5) 問題データベース・タブレット端末用学習教材、Web 評価支援システムの有効活用
- (6) 各種学力調査（全国調査・県調査・市調査）問題の有効活用
 - ・授業の内容に即して活用問題・練習問題として出題し解説
 - ・「授業アイデア例」（国立教育政策研究所）等を参考に
- (7) 佐学研小学校理科部会作成教材の活用
- (8) 英検の受検促進

どこでどのように取り組むのかを明確にし、計画的・継続的な取組を行う。

◇授業力向上の取組（新大分スタンダードに基づく授業改善を進める中で）

- (1) 付けたい資質・能力、評価規準を明確した授業の実施
 - ・授業を実施する前提として、授業者が付けたい資質・能力、評価規準を意識
- (2) 「情報の取り出し→思考・判断→表現」の一体化を意識した授業の実施（例）
 - ・わたチェック
 - ・資料や教材文に線を引く（内容読解のため、自分の考えをつくるため）
 - ・図や数直線に表す
 - ・全文揭示の利用 等
- (3) より多くの情報から情報を取り出し、書いて表現する授業の実施
 - ・複数の情報をもとに、各教科固有の学習用語を使いながら、自分の考えを説明したり、書いたりして表現する。
- (4) 必然性をもったペア・グループ活動の実施
 - ・表現する場面の設定と児童生徒の姿の想定。

校内研修において共通理解し、日常の授業において具現化する。（授業観察の視点に組み入れる）

- ※「定着・習熟の取組」「授業力向上の取組」については、積極的に研究指定校の実践研究に学ぶこと（授業参観、研修参加等）
- ※「授業力向上の取組」については、若手教員育成の観点から授業力向上アドバイザーを計画的に活用すること。